



第155回 組合会 開催

平成30年度 事業報告と決算について

7月26日、日本通運本社ビル会議室において、横尾理事長はじめ32名の議員が出席し、第155回組合会が開催され、平成30年度決算など、6件の議案について審議され、原案どおり承認されました。

議決事項

- 第1号議案 平成30年度事業報告の件
- 第2号議案 平成30年度収入支出決算の件
- 第3号議案 平成30年度収入支出決算残金処分の件
- 第4号議案 組合規約第4条「設立事業所の名称及び所在地（別表）」一部変更の件
- 第5号議案 互選議員総選挙実施の件
- 第6号議案 旧赤倉保養所の土地売却に関わる原状回復の件

※ P21 公告参照



事業報告

平成30年度は重点施策として、『事業主と連携して、加入者の心身の健康づくりを積極的にサポートする』、『公平・公正な事業運営に努め、加入者の安心と信頼を得る』を基本方針に掲げ、具体的には次のような取り組みを行いました。

A 保健事業
～加入者の健康づくり、
疾病予防

- 第2期データヘルス計画の推進
- コラボヘルスによる健康経営のサポート
- ICTを活用したわかりやすい健康情報の提供

B 適用・給付事業
～公平・公正・迅速な資格
審査、保険給付

- 事業主と連携した適正な審査と給付業務の実施
- 個人番号（マイナンバー）の適正な管理
- ジェネリック医薬品の利用促進

C 組織・財政運営
～健全運営の維持、
的確な情報発信

- コンプライアンスの確保とガバナンスの強化
- 健康保険に関する加入者の理解促進に向けた情報発信
- 健保活動を通じた、医療保険制度改革に向けたアピール強化

平成30年度決算概要について



収入面では、給与の引上げ等により標準報酬月額や標準賞与額が、予算に比べ増加したため、健康保険料収入は280億4千9百万円となり、対予算2.6%の増となりました。

一方、支出面では、保険給付費は140億4千5百万円であり、対予算9.0%の減で、対前年度では1.4%の減となりました。また、高齢者医療制度への納付金・支援金等の合計は110億2百万円で、対前年17億9千7百万円の減となりました。

以上の結果、本年度の経常収入計は281億7千2百万円、経常支出計は263億2千2百万円となり、経常収支差引では18億5千万円の経常黒字となりました。